

こばりあおやまかいがんしゅうへん

小針青山海岸周辺地区

(新潟県新潟市)

- 計 画 期 間 平成 26 年度～平成 30 年度
- 面 積 877 h a
- 交付対象事業費 752.8 百万円
- 人口 776,468 人

ポイント 地区の防災力及び居住環境の向上を図り、安心・安全のまちづくりを推進する。

地区概要 本地区は、高度経済成長期に丘陵地と海岸の間に形成された住宅地であるため、地形的な要因から発生する雨水や飛砂による被害への対策や、狭隘な道路が多い地域における居住環境の向上を図る。

- 目 標**
- 大目標：地区の防災力及び居住環境の向上を図り、安心・安全なまちづくりを推進する。
 - 目標 1：丘陵地と海岸に挟まれた地域特性による災害に対応できるまちづくりを進め、防災力の向上を図る。
 - 目標 2：歩行空間の確保や交通安全施設の整備等を行い、居住環境の向上を図る。
 - 目標 3：地域コミュニティの活性化及び官民連携により、自助・公助・共助の体制づくりを進める。

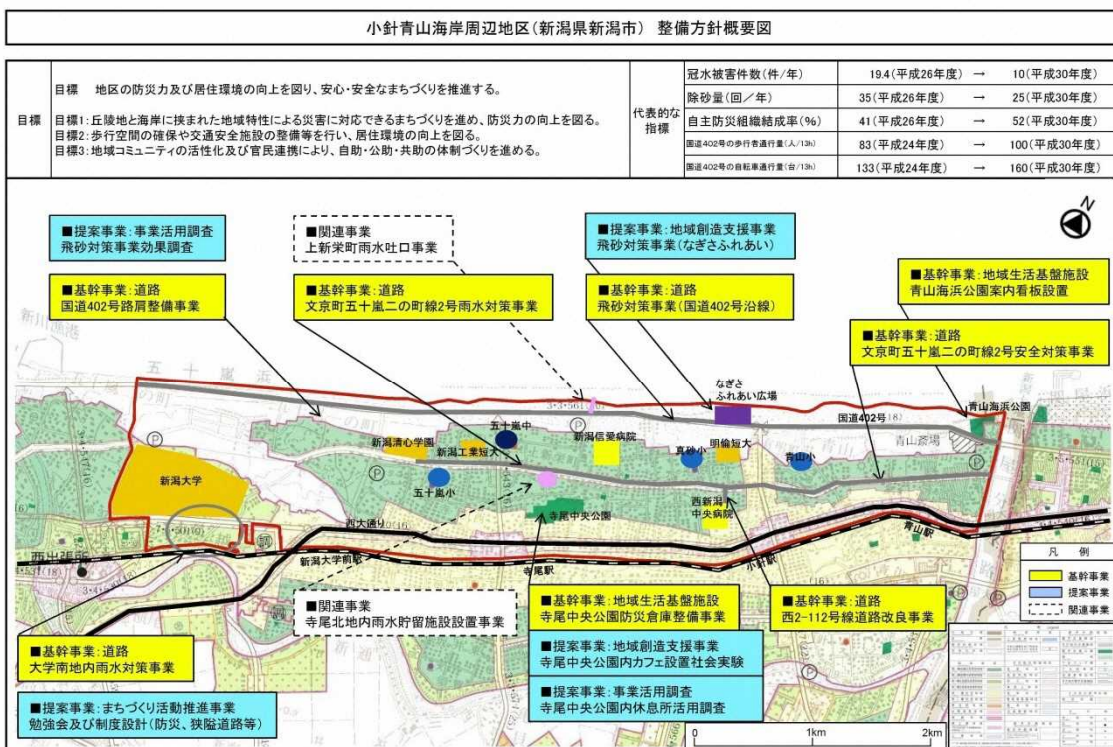
指 標

地区の防災力の向上に重点を置き、冠水や飛砂に関する指標と自主防災組織の結成率を指標として設定した。

項目	従前値 (H25) → 実績値 (H30 末)
冠水被害件数 (件/年)	19.4 件/年 → 10 件/年
除砂量 (回/年)	35 回/年 → 18 回/年
自主防災組織の結成率 (%)	41% → 55%
歩行者・自転車の通過交通量 (歩行者) (人/13h)	83 人/13h → 43 人/13h
歩行者・自転車の通過交通量 (自転車) (台/13h)	133 人/13h → 61 人/13h

事業内容

- 基幹事業 (632.5 百万円) → 道路事業 (6 箇所)、地域生活基盤 (2 箇所)
- 提案事業 (120.3 百万円) → 飛砂対策、社会実験、事業活用調査、勉強会



完了地区 新潟県

地区の現況と課題

地区の現況

本地区は、高度経済成長期に丘陵地と海岸の間に形成された住宅地である。そのため、地形的な要因から発生する雨水や飛砂による被害への対策が急務となっているほか、狭隘な道路が多く存在しており、居住環境の向上が求められている。

地区の課題

○地区の防災性能を向上させるため地形的な要因で発生する雨水対策が急務であり、雨水排水の強化、雨水流出の抑制を進める必要がある。

○国道402号は第2次緊急輸送道路であり、重要な路線である。そのため、飛砂対策を実施し、交通機能の安定的な確保が必要である。

○当地区は高度経済成長期の住宅地で、開発許可制度以前の制度により造成された地区である。そのため、地区内の道路は狭隘区間が多い。全面的な見直しは難しいものの、部分改良により道路機能の向上を図り、安全性・利便性の向上を図ることが求められている。



一般国道402号 堆砂状況



一般国道402号 飛砂対策状況

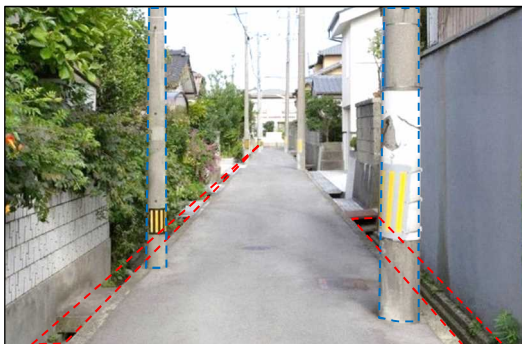
提案事業の特徴

飛砂対策事業

植生や垣、フェンス等を組み合わせ、効果的な飛砂対策を検討し、整備する。

勉強会及び制度設計（防災、狭隘道路等）

地域住民と連携した自助・公助・共助の防災体制づくりを進めるため、防災並びに狭隘道路の改善方法、使用方法などについて、地域を選定し勉強会を立ち上げる。



狭隘道路（現況）



狭隘道路（整備イメージ（CG））

：側溝の蓋がけ
：電柱の抜柱、移設

計画策定プロセス

地区における問題

小針青山海岸周辺地区は東西に延びる丘陵地であるため、南北に雨水が集中することから、雨水排水対策が急務となっている。また、海岸線を走る国道402号は第2次緊急輸送道路に指定されているが、飛砂の影響で道路路面が堆砂し交通機能確保のため除砂作業が必要となっている。さらに、高度経済成長期に造成された住宅地が多く、道路等の社会基盤は現在の基準からみると狭小であるなど防災性の低い水準となっている。

問題の解決へ向けて

以上の問題を効率的に解決するため、一体的な計画を策定できる都市再生整備計画事業を活用し、問題解決に取り組んでいる。